

日立市・日立地区産業支援センター・茨城大学連携公開講座

# 「AI・IoT・データサイエンス入門」 受講者募集

日立市を中心とする茨城県北臨海地域の産業振興のため、地域の事業所等に勤める方を対象に茨城大学の公開講座の受講者を募集します。この機会に是非受講くださいますようご案内します。

**開講日時**

2月16日(土)

1限 13:00～14:30 山崎先生 「データとは何か」

2限 14:40～16:10 羽瀨先生 「IoTとは何か」

2月23日(土)

1限 13:00～14:30 山本先生 「AI、データサイエンスとは何か」

2限 14:40～16:10 小西先生 「AI vs 人間(画像認識)」

**募集人員**

各日30名(最少催行人数 5人以上) \*1日のみの参加も可

**開催場所**

日立地区産業支援センター (日立市西成沢町2-20-1)

**受講料**

**無料**(日立市、北茨城市、高萩市、東海村、那珂市、ひたちなか市、常陸太田市の方)  
他地域の方は ・1日のみ:1,542円 ・2日受講:3,084円

**申込み期限**

2月7日(木)

## 講座内容

2月16日(土)

1限 「データとは何か」 山崎 大 全学教育機構准教授

前半は、データ、ビッグデータ、AIとビッグデータの関係について基本的な知識を解説する。その後、データ活用の利点と欠点についてグループ毎に自由討論を行い簡単に発表してもらう。後半はデータ活用の事例紹介とその利点と欠点の解説を自由討論の内容と関連付けて解説する。

2限 「IoTとは何か」 羽瀨 裕真 理工学研究科教授

IoT (Internet of Things) は「いつでもどこでもネットが使えること」や「クラウドサービスの恩恵を受けること」とは違うものなのであろうか?いくつかの事例をもとに理解を深める。さらに、どのような問題が起きているのか、または起きようとしているのかを考える。

2月23日(土)

1限 「AI、データサイエンスとは何か」 山本 一幸 IT基盤センター助教

現在、AIが活躍する場面として、文字や画像の識別、自動運転、囲碁対戦などがよく知られており、人間と同じように推論して結論を導き出すことが期待されている、また、クラウドサービスの普及によりビッグデータの利用が可能となった。

この回ではAIの歴史と様々な手法やデータサイエンスの手法の解説により、AIとデータ利用についての理解を深める。

2限 「AI vs 人間(画像認識)」 小西 康文 全学教育機構准教授

AI活用事例の一つとして手書き数字認識を取り上げ、ニューラルネットワークと呼ばれるAIの構造を学習する。また、クリッカーを利用した双方向型の授業をとおして、AIと人間の手書き数字認識の精度を確かめる。

■講座に関するお問い合わせ先:

茨城大学社会連携センター事業推進課 (平日9:00～12:00、13:00～17:00)

〒310-8512 水戸市文京2-1-1 Tel:029-228-8413 Fax:029-228-8495

E-mail: syougai@ml.ibaraki.ac.jp

★申込については  
裏面をご覧ください

# 受講申込書

申込日	平成31年 月 日		
フリガナ 企業名	所在地	〒	
連絡担当 部署	連絡担当 者名		
Eメール	連絡先	TEL ( )	FAX ( )

受講者情報(受講希望の講座の希望欄に○を記入してください)

フリガナ 氏名	性別	男 ・ 女		
	年齢	歳		
所属部署 / 役職	担当業務			
受講希望講座	No	講座名	日程・時間	希望
	1日目	データとは何か	① 2/16(土) 13:00~14:30	
		IoTとは何か	② 2/16(土) 14:40~16:10	
	2日目	AI、データサイエンスとは何か	① 2/23(土) 13:00~14:30	
		AI vs 人間(画像認識)	② 2/23(土) 14:40~16:10	

フリガナ 氏名	性別	男 ・ 女		
	年齢	歳		
所属部署 / 役職	担当業務			
受講希望講座	No	講座名	日程・時間	希望
	1日目	データとは何か	① 2/16(土) 13:00~14:30	
		IoTとは何か	② 2/16(土) 14:40~16:10	
	2日目	AI、データサイエンスとは何か	① 2/23(土) 13:00~14:30	
		AI vs 人間(画像認識)	② 2/23(土) 14:40~16:10	

※3名以上の場合はコピーして使用ください。

■ 申込方法

必要事項を記入の上、いずれかの方法によりお申し込みください。

・電子メール: info@hits.or.jp

・FAX : 0294-25-6125

・郵送 : 〒316-0032 日立市西成沢町 2-20-1

(公財)日立地区産業支援センター (六田)行

■ 申込に関するお問合せ先

公益財団法人日立地区産業支援センター

担当 六田(ロクダ) TEL: 0294-25-6121

## 2018年度 後期(4Q) 基盤科目(技術と社会) KB8199

# AI・データサイエンス入門

▶ 近年におけるスマートフォンをはじめとするモバイル機器やソーシャルネットワーキングサービス(SNS : Social Networking Service)の普及により、スマートフォンに組み込まれているセンサーによるデータやSNSの利用者によるテキストメッセージなどエクサバイトにおよぶビッグデータが日々生み出されている。

▶ スマートフォン以外にも、自動車や家電製品などに組み込まれたセンサーが取得する様々なデータのやり取りがインターネットを介して行われるモノのインターネット(IoT : Internet of Things)により、第4次産業革命が引き起こされると考えられている。

▶ こうした社会を実現していくためには、人間だけでなく人工知能(AI : Artificial Intelligence)がビッグデータに対する対応や解析を行って行かなければならない。

▶ そこで、AIを中心にこれからの社会におけるデータの流れや活用方法などを取り扱う。

## 授業計画

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 データとは何か
- 第3回 IoTとは何か
- 第4回 AIとは何か
- 第5回 AI vs 人間(手書き数字認識)
- 第6回 事例紹介(モータの寿命判定)
- 第7回 事例紹介(フィンテック)
- 第8回 まとめ

## 担当教員一覧 (50音順)

- 【全学教育機構】  
栗原和美、小西康文、  
佐藤伸也、山崎大
- 【工学部】  
鈴木智也、羽渕裕真
- 【IT基盤センター】  
山本一幸

## 成績の評価方法

- 各回の課題  
(100%、毎回異なるテーマ  
で行われる講義内容の確認)

# 情報リテラシー

## 相談室

PCの  
持ち込み  
歓迎!

履修の相談は学務課  
(共通教育棟1階)へお願いします



情報リテラシーの相談ごとと一緒に考えます。どなたでもOKです。

WiFiが繋がらない、授業内容でわからないことがある、授業に関係ないけど相談したい、などなど…

春だけの特設会場 (図書館1階 ラーニングcommons)

 4月8日~19日(月~金) 11:55~12:35、16:00~17:00

常設会場 (リフレッシュコーナー ← 理学部S棟2階 MM2 となり)

 月・火曜日 12:10~12:30 (前期授業がある週に開催)

相談の担当：情報リテラシー科目教員 (佐藤伸也など)、IT基盤センターのスタッフ、情報リテラシー科目TAなどの学生

お問合せ先：学務課 (常設会場について)、IT基盤センター (春だけの特設会場について)

# 自分のPCを学内で使えるようにしよう！

## STEP1 学内WiFiに接続しよう

[IbarakiUniv-n]をクリック  
([IbarakiUniv-g]よりも速くて安定してるよ)

ユーザ名 (ID) とパスワードは  
葉書の中に書いてあるよ。

「自動的接続」のチェックを  
入れて「接続」をクリック！

「接続」をクリック！

電波の強さに応じて  
表示されるよ

[接続済み]と表示されたら  
接続成功！

電波の強さに応じて  
表示されるよ

わからないときは、まわりで知ってそうな人に聞いてみるといいかも (PCが得意な人は教えてあげてね)。情報リテラシー相談室でもサポートしてるよ (裏面を見てね)。

この葉書に書いてあるID (ユーザ名) は「認証ID」と呼ばれていて、学内のいろいろな情報サービスで共通に使われます。大切なものだから、しっかり管理しようね (パスワードは、情報リテラシー初回の授業で変更します。パスワード変更後にはWiFi接続で使うパスワードも変更になるよ)。

## STEP2 IT基盤センターページへ

ブラウザで「茨大 IT」を検索

IT基盤センターへのリンクをクリック

スマホの設定方法も書いてあるよ。いろいろと見てみよう。

学内接続のときだけ「学内限定」コンテンツが現れるよ！

Office365へのログイン  
大学オフィシャルメール

履修登録や授業のページ

ユーザ名 (ID) とパスワードを確かめて、もう一度やりなおしてみよう。

初めてのウェブログインではこのような表示になるので、「Ask me again if...」を選んで「Accept」をクリック。

## STEP3 Officeインストール

自分のPCにOfficeがインストールされていない人は、IT基盤センターのページからOffice365にログインし、この冊子の7ページ目のようにしてOfficeをインストールしてね。

Officeのインストールは、学外のネットからでもできるよ。情報リテラシーの授業が始まるまでにできているといいな♪

印刷が見つからないときはこちら→

# 学内Wi-Fiにつなごう編



スマホでも学内Wi-Fiが使えるよ。  
試してみてね。

## STEP1 学内Wi-Fiに接続しよう

[IbarakiUniv-n]をクリック ([IbarakiUniv-g]よりも速くて安定してるよ)

「自動的に接続」のチェックを入れて「接続」をクリック!

ユーザ名 (ID) とパスワードは葉書の中に書いてあるよ。

「接続」をクリック!

[接続済み]と表示されたら接続成功!

## STEP2 パスワード変更後

認証IDのパスワード変更後には、Wi-Fi接続で使うパスワードも変更になるよ。上手く行かないときには、下のようにして設定 (プロフィール) を削除してSTEP1から設定しなおそう。

「IbarakiUniv-n」を右クリックして[削除]

## STEP3 技術的な情報

学内情報環境利用簡易案内

この冊子の1ページ目には、Wi-Fi接続に必要な情報が書いてあるよ。右側の引用がみづらいときには、冊子を見てね。

スマホで学内Wi-Fi接続を設定するとき、指定が必要ならばこの情報を使ってね。

- 無線 LAN で接続する際は次のいずれかの SSID を選択します。
  - IbarakiUniv-n (5GHz)
  - IbarakiUniv-g (2.4GHz)
 両方利用できる場合は前者を使うようにしてください。
- 次の項目を設定情報として指定してください。

セキュリティの種類	WPA2 エンタープライズ
暗号化の種類	AES
認証方法	PEAP-MSCHAPv2
認証モード	802.1X
認証 ID	学生番号の英文字を小文字に
パスワード	認証 ID のパスワード

機種ごとの設定手順はIT 基盤センターウェブサイトにある手引きを参照してください。

<http://www.ipc.ibaraki.ac.jp/>

学内限定⇒利用の手引き⇒無線 LAN の利用方法

機種ごとの設定は、<http://www.ipc.ibaraki.ac.jp/> の「学内限定⇒利用の手引き⇒無線 LAN の利用方法」から見てみてね。

# 英語学修相談室

英語学修に関する相談全般を受け付けます。

◆ **相談日：原則月曜日**

5/20 5/27 6/3 6/10 6/17 6/24 7/1 7/8 7/22

10/7 10/21 10/28 11/11 11/18 11/25 12/2 12/9

12/16 1/20

◆ **相談時間：14：00～15：00**

◆ **担当教員：福田浩子**

◆ **場所：共通棟1号館303室**

※担当教員の都合により、変更になる場合があります。

# 英語学修相談室

英語学修に関する相談全般を受け付けます。

◆ **相談日：原則火曜日**

5/21 5/28 6/4 6/11 6/18 6/25 7/2 7/9 7/16 7/23  
10/8 10/15 10/22 10/29 11/5 11/12 11/19 11/26  
12/3 12/10 12/17 1/14 1/21

◆ **相談時間：13:00～14:00**

◆ **担当教員：上田敦子**

◆ **場所：共通棟1号館212室**

※担当教員の都合により、変更になる場合があります。

# 英語学修相談室

英語学修に関する相談全般を受け付けます。

◆ **相談日：原則水曜日**

5/22 5/29 6/5 6/12 6/19 6/26 7/3 7/10 7/17 7/24

10/9 10/16 10/23 10/30 11/6 11/13 11/20 11/27

12/4 12/11 12/18 1/8 1/15 1/22

◆ **相談時間：14:30～15:30**

◆ **担当教員：大森 真**

◆ **場所：共通棟1号館232室**

※担当教員の都合により、変更になる場合があります。

# 英語学修相談室

英語学修に関する相談全般を受け付けます。

◆ **相談日：原則木曜日**

5/23 5/30 6/6 6/13 6/20 6/27 7/4 7/11 7/18

10/10 10/17 10/24 10/31 11/7 11/14 11/21 11/28

12/5 12/12 12/19 1/9 1/16 1/23

◆ **相談時間：15:00～16:00**

◆ **担当教員：大山 廉**

◆ **場所：共通棟1号館331室**

※担当教員の都合により、変更になる場合があります。

# 茨城大学1dayキャンパス

## in 土浦二高

土浦二高のみなさん、こんにちは！昨年に引き続き、2回目の「茨城大学1dayキャンパス」を土浦二高で開催します。茨城大学の先生&土浦二高出身の現役茨大生もおじゃまします！今年も会場参加型のトークセッションもあるので、高校時代の経験談や大学生活の本音、昨年聞くことができなかったことなど、気になることをどんどん聞いてくださいね！

日時

2018年12月15日（土）

9:00～12:20

### ①9:00～10:30 特別講座「茨大の知のフロンティア」

人文社会科学部人間文化学科 野口康彦 教授	▶ はじめてふれる心理学 ～対人関係とコミュニケーション～
人文社会科学部法律経済学科 清山 玲 教授	▶ 経済学・経営学メジャー入門
教育学部情報文化課程 小林祐紀 准教授	▶ 教育の近未来を想像しよう ～ICTを活用した教育～
理学部理学科化学コース 折山 剛 教授	▶ 分子モデルを使って ケミストリーの世界を見てみよう
理学部理学科生物科学コース 中村麻子 教授	▶ 何が怖いの？ 放射線とがんの話
工学部機械システム工学科 近藤 良 教授	▶ 障がい者のための ロボット技術と制御工学
全学教育機構 小西康文 准教授	▶ AI・データサイエンス入門 ～ AI vs 人間～
農学部地域総合農学科 牧山正男 准教授	▶ 人口減少時代のフロンティア ～ 2040年の日本を創る君たちへ

### ②11:20～12:20 会場：多目的室 大学生が集合！茨大トークセッション

大学生活ってどんな感じ？研究室はどんなところ？受験勉強ってどうすればいい…？進路はいつ決定した？～そんな素朴な疑問・不安に、土浦二高を卒業した現役茨大生がお答えするトークセッション。進路選択に迷っているみなさんもしどしどしご参加ください！



Illustration by Shu Kikuchi (教育学部美術選修2年)

# 茨城大学1dayキャンパス

# in土浦二高

①9:00～10:30  
特別講座  
茨大の知の  
フロンティア

人文社会科学部人間文化学科 ▶ はじめてふれる心理学  
野口康彦 教授 - 対人関係とコミュニケーション -

キーワード：  
非言語的コミュニケーション，パーソナルスペース，対人認知，  
自己開示，開かれた質問

人文社会科学部法律経済学科 ▶ 経済学・経営学メジャー入門  
清山 玲 教授

キーワード：  
子どもの貧困，絶対的貧困，相対的貧困，所得格差，教育格差

教育学部情報文化課程 ▶ 教育の近未来を想像しよう  
小林祐紀 准教授 - ICTを活用した教育 -

キーワード：  
学校教育，ICT，タブレット端末，アクティブ・ラーニング

理学部理学科化学コース ▶ 分子モデルを使って  
折山 剛 教授 ケミストリーの世界を見てみよう

キーワード：  
有機化合物，異性体，結合，SDGs，グリーンケミストリー

理学部理学科生物科学コース ▶ 何が怖い？  
中村麻子 教授 放射線とがんの話

キーワード：  
DNA損傷，2015年ノーベル化学賞，放射線

工学部機械システム工学科 ▶ 障がい者のための  
近藤 良 教授 ロボット技術と制御工学

キーワード：  
ロボット，制御，下肢障がい

全学教育機構 ▶ AI・データサイエンス入門  
小西康文 准教授 ~ AI vs 人間 ~

キーワード：  
人工知能 (AI)，ニュートラルネットワーク，手書き数字，  
画像データ，Python

農学部地域総合農学科 ▶ 人口減少時代のフロンティア  
牧山正男 准教授 ~ 2040年の日本を創る君たちへ

キーワード：  
2040年問題，少子・高齢化，中山間地域，都市農村交流，  
田園回帰

②11:20～12:20  
会場：多目的室  
茨大トーク  
セッション

人文学部社会科学科  
3年 長永 勇太



教育学部技術選修  
3年 栗崎 裕野



理工学研究科  
量子線科学専攻  
修士2年 五頭 史泰



工学部都市システム工学科  
3年 若山 崇大



農学部地域総合農学科  
1年 石倉 未悠

こちらの5人の  
学生が  
おじゃまします！

# 授業内外に必要な英語リスニング・ スピーキング力を養うサポートをします！

- ◆ 日程：原則、毎週月曜日  
5月20・27日、6月3・10・17・24日  
7月1・8・22日  
10月7・21・28日  
11月11・18・25日  
12月2・9・16日
- ◆ 時間：14：00～15：00  
1レッスン20分（予約制）
- ◆ 場所：共通教育棟1号館2階218室
- ◆ 講師：館 深雪  
（全学教育機構 英語教員）
- ◆ 対象：茨城大学全学部1～4年生

※都合により、変更になる場合もありますので、レッスン前に必ず予約サイトにて確認してください。

※1回に1～3人まで参加可能です。



こんな人におすすめ

- ◆ 英語で会話や主張ができるようになりたい！
- ◆ 英語の発音を良くしたい！
- ◆ 英語の講義でサポートが欲しい！
- ◆ その他の英語学習に関する質問もOK

## Chatting Time

ご予約・空席の確認はこちらから

<http://egs.lae.ibaraki.ac.jp/>



# ネイティブ教員(全学教育機構)と 英会話プライベートレッスン

◆ 講師：シュミット先生 (全学教育機構)

◆ 日程 火・水・木曜日

5月21・23・28・30日、

6月4・6・11・13・18・20・25・27日

7月2・4・9・11日

10月15・16・22・23・29・30日

11月5・6・12・13・19・20・26・27日

12月3・4・10・11・17・18日

1月8・14・15・21・22日

◆ 時間 1レッスン20分(予約制)

5月～7月 火・木曜日 12:00～13:00

10月～1月 火曜日 12:00～13:00

水曜日 14:30～15:30

◆ 場所：人文社会科学部C棟602室

◆ 対象：茨城大学の学部生

※都合により、変更になる場合もありますので、レッスン前に必ず予約サイトに確認してください。

※1回に1～3人まで参加可能です。

レッスン内容は個々のレベルに合わせて決定できます。  
マンツーマンレッスンで、確実なステップアップを目指そう！

good  
job



## Chatting Time

ご予約・空席の確認はこちらから

<http://egs.lae.ibaraki.ac.jp/>



【お問合せ】共通教育センター(共通教育棟1号館1階)

# ネイティブ教員(全学教育機構)と 英会話プライベートレッスン

- ◆ 講師：シャノン先生(全学教育機構)
- ◆ 日程 原則、毎週火曜日  
5月21・28日、6月4・11・18・25日  
7月2・9・16日  
10月22・29日、11月5・12・19・26日、  
12月3・10、17日
- ◆ 時間 12：00～14：00 1レッスン20分(予約制)
- ◆ 場所：シャノン先生：共通教育棟1号館201室
- ◆ 対象：茨城大学の学部生

※都合により、変更になる場合もありますので、レッスン前に必ず予約サイトにて確認してください。

※1回に1～3人まで参加可能です。

レッスン内容は個々のレベルに合わせて決定できます。  
マンツーマンレッスンで、確実な  
ステップアップを目指そう！

good  
job



## Chatting Time

ご予約・空席の確認はこちらから  
<http://egs.lae.ibaraki.ac.jp/>



【お問合せ】共通教育センター(共通教育棟1号館1階)

# ALCネイティブ講師による 英会話プライベートレッスン

## ◆ 日程

5月8・15・22・29日  
6月5・19・26日  
7月3・10・17・24日  
10月2・9・16・23・30日  
11月6・13日  
12月4・11・18日  
1月8・15日

2~3名での  
受講もOK!

◆ 時間 13:00~18:50(予約制)  
1人(グループ)30分

◆ 場所 図書館2階グループ学習室(S1)

◆ 講師 英語のネイティブスピーカー  
((株)アルク)

◆ 対象 茨城大学の学部生・大学院生

このレッスンのココがイイ!

◆ マンツーマンで個々のレベルに合った

丁寧なレッスンを受けられる!

◆ 毎回のフィードバックで、次への課題が見つかる!

## 英語コミュニケーショントレーニング

ご予約・空席の確認はこちらから

<http://egs.lae.ibaraki.ac.jp/>



【お問合せ】共通教育センター(共通教育棟1号館1階)

## 【別紙 1】「自ら読む」自律的な学習者を目指して—多読環境の充実による授業外学修促進プロジェクト

## 申請事業の趣旨、目標、指標

## 【本学における多読による授業外学修の取り組み】



本学では、旧総合英語プログラムの開講当初より、全レベルにおいて様々な形で「英語図書多読」活動を取り入れてきた。多読に関する取組を全国の国立大学に先駆けて開始し、十数年にわたり継続してきた結果、水戸キャンパスにおける多読用英語図書(レベル別英語多読教材、英語児童文学・絵本など)は約8000冊を超え、国立大学の中では上位の蔵書量となっている。また、多読活動に対しては、多くの学生から「楽しみながら」英語を学ぶことができるようになったという声が聞かれ、学生の英語に対する苦手意識の低減やモチベーションの維持などにも一定の効果을上げている。

## 本学の多読活動における課題① – Practical English の日立・阿見開講に向けて

2018年度には、総合英語から Practical English へとプログラムが拡大し、2年目を迎える。日立、阿見両キャンパスでも基盤教育科目としての英語が2年次生向けに開講される。しかし、両キャンパスの多読用英語図書の整備は遅れており、早急な対応が望まれている。

## 本学の多読活動における課題② – 「義務」としての多読活動による「プレッシャー」

英語を「楽しみながら学べる」ことに気づく貴重な機会である一方、授業の「課題」としての多読においては、「義務」的活動としてのプレッシャーも避けられない。多読の教育効果の最大化には、「内発的」な意思、動機から「自ら読む」(佐々木・上田2007)という姿勢、行動が鍵となる。そのためには、自らの楽しみ、喜びのために本を読むという機会を与えることも大切である。

## 【本プロジェクトにおける目標とそこから見込める成果】

## 1. 多読ラウンジ整備により、全キャンパスにおいてリラックスした状況の中で継続的に多読活動を行える環境を提供する

⇒ 授業外学修の機会と環境の提供 (課題①、②への対応、重点項目 1、3)



参考：千葉大学図書館 多読コーナー  
(千葉大学 HP より)

阿見、日立、水戸の3キャンパスに、ソファ・エリアを中心とした多読ラウンジを設置する。ラウンジでは、時間をかけて「自分にとって適切な」本を選ぶことが可能になる。本を選ぶプロセスは多読活動において大きな意味を持つ。タイトルや表紙だけで本を選択するのではなく、本文を実際に読み、自分にとって難易度が適切、且つ、面白いと思う本を選ぶことが出来なければ、多読体験は学習者本人にとっての「楽しみ」にはなりえないからである。また、多読においては「読めた！」という小さな成功体験を重ねることがモチベーションの維持に必須である。それには、借りるには少し抵抗が感じられる、「短すぎる」、「やさすぎる」と思われるような本をその場でさっと読むという体験も重要である。多読ラウンジは上記の機会を学生に提供することが可能である。

## 2. プロセスの可視化による自主的な多読の取組促進と Book Talk における体験共有により多読の継続度の向上を図る

⇒ 成功体験の積み重ねと協働学修の場の提供による授業外学修の促進 (課題②への対応、重点項目 1、3)

多読における問題の一つに「継続の困難さ」が挙げられる。読書とは「個人的」かつ「孤独」な活動である。自ら目標を設定し、一定のペースで、外国語で書かれた本を継続的に読み続けることは時に難しい。継続への意欲をサポートするために、スタンプラリーと体験共有の場である Book Talk を開催する。

スタンプラリーへの参加によって、まず、自らの多読活動のプロセスが見えやすくなる。さらに、周りとの適度な競争感覚やインセンティブの提示は、継続への意欲向上にも繋がると考えている。また、Book Talk でお互いの体験を共有することで、読んだことのないジャンルに巡り合ったり、次に読んでみたい本を見つけたりするなど、多読体験をより一層広げていくことが可能である。このようなイベントと組み合わせることで、多読を「孤独」な活動でなくし、継続意欲を向上させることを目指す。



疑問が出てきても・・・ 相談して解決！ 体験、楽しみを共有 継続

## 成功体験の実感とモチベーション維持のためのスタンプラリーにおける工夫

### ◆スタンプラリーにおける異なるゴール設定

スタンプラリーにおいては、学生のペース作りをサポートしつつ、各自の英語レベルによって自分に適切なゴールを設定できるようにする。第1段階では多読のリズムを作るために、まとまった数の本を読むことを目標とし、第2段階では、A)「読了した本の冊数」、または、B)「読了した本の語彙数」の2種類のゴールを自身の意思で選び、設定していく。

### ◆2種類のゴールを設ける理由

英語にあまり自信がない、苦手意識のある学生の場合、英語に対する「小さな成功体験」を多く積むことが継続の鍵となる。そのため、「読了図書合計冊数」を肯定的に評価することで、仮に周囲からは「やさしく」見える本であっても、それを読み続けることに対する後ろめたさや罪悪感を持たずに継続していくことが可能である。既に英語に対して肯定的な姿勢を持っている学生は、「読了図書合計語彙数」を目標に設定することで自分の「小さな挑戦」に対する「成功体験」を積むことが可能となる。  
(\*語彙数は難易度判断のおおよその基準となる)



### 多読体験を地域社会に共有・紹介し、地域貢献へ

本プロジェクトの企画にあたり、本学図書館本部からは全面的な協力を約束されている。図書館実施の「土曜アカデミー」において、本プロジェクトの表彰式を兼ねた成果発表を行い、地域社会にも多読活動を紹介する予定である。プロジェクト終了後には、図書館が主体となり、地域住民対象の多読スタンプラリーを行うことも検討している。地域住民の英語多読に対する高い興味・関心に応えることによる地域貢献はもちろんのこと、多読活動を始めとする本学の英語教育について地域社会に発信するよい機会となるであろう。

## 実施計画

以下の流れに沿って本プロジェクトを実施していく。

時期	実施内容
4月～6月	<b>多読ラウンジ整備</b> ソファ購入、設置 (日立、阿見、水戸) 多読用図書購入、配架 (日立、阿見)
7月～9月	<b>スタンプラリー実施準備</b> スタンプカード作成 インストラクション・シート作成 (「多読3原則*」の確認、本の探し方など) インセンティブ・グッズ購入 周知用フライヤー作成 キャンパスにおいて周知 (*多読3原則: ①辞書は引かない ②わからないところは飛ばす ③つまらなくなったら後回し (酒井 2002 より))
10月～	<b>スタンプラリーエントリー開始</b> エントリー学生にスタンプカード配布 スタンプカード1枚修了ごと+ゴール達成時にインセンティブ・グッズ供与 Book Talk 開催 (作家と作品について語る会: 作家兼応用言語学者の Rob Waring 氏を予定)
1月末	<b>スタンプラリー終了</b> スタンプカード集計 Top Readers (冊数、語彙数両カテゴリー)選定、表彰者決定
2月中旬～下旬	<b>スタンプラリー表彰会 (「土曜アカデミー」にて地域住民にも公開)</b> Top Readers 表彰、インタビュー、多読体験の共有と紹介 次年度の社会人向け多読スタンプラリーへの橋渡し

参考文献: 佐々木美帆・上田敦子 (2007) 多読による英語学習者のリーディングスキル発達に対する認知心理学的検証, 茨城大学人文学部紀要, 人文コミュニケーション学科論集, 2:97-105.  
酒井邦秀 (2002) 快読 100 万語! ペーパーバックへの道, ちくま学芸文庫, 東京

※当日の紙資料配付はありませんのでご注意ください(BYODでご参加ください)。

## BYODに関するFD

平成31年2月21日(木)13:00~15:30(受付開始 12:45予定)

メイン会場:水戸キャンパス 図書館ライブラリーホール

VCS:日立キャンパス イノベーションルーム・阿見キャンパス 講義棟203教室

□  
対象:全教職員

主催:教育改革推進委員会

- ・2020年度から全学導入となるBYODについて、導入計画の概要、先行大学における導入事例を報告します。
- ・加えて、先行導入の工学部向け授業担当者から、BYODを活用した授業の実践や課題について事例を報告いただきます。
- ・FDはBYOD形式で実施しますので、当日はPC・タブレット等をご持参ください。

### タイムテーブル

□  
13:00-13:05 開会挨拶

13:05-13:20 趣旨説明

「BYOD導入ーBYODで学生に積極的な学習や創造的活動を促すことを考えましょうー」(PDF:927KB)

羽瀨 裕真(学長特別補佐[IT・情報セキュリティ担当])

13:20-13:50 事例報告 ※当初のご案内と一部、進行が変更になっています。

「BYOD授業事例報告」(PDF:1.45MB)

鎌田 賢(理工学研究科 情報科学領域 教授)

<https://meet.lync.com/ibarakiuniversity/m.kamada/4T1BT3T1>

こちらから事例紹介で出てきます、Skype for Business経由で報告者のPC画面をご覧いただけます。

- ・Windowsの方は、リンクをクリックのあと既にPC用のSkype for Businessのアプリがインストールされている方はアプリで参加いただけます。
- ・あるいは、Skype会議アプリ(Web)で参加を選び、ウェブアプリと言いながら何かインストールされるのを待って参加となります。
- ・Macの方は、Skype for Businessのアプリしか使えません。

※設定によっては、「Skype for Business」がPCの起動時に立ち上がるようになるので、「設定をあまり変えたくない」方は、  
こちらをクリックせず、当日の実演をご覧いただければ、と思います。

□  
「【事例報告】情報リテラシーから」(PDF:414KB)

栗原 和美(理工学研究科[工学野]電気電子システム工学領域 教授)

13:50-14:10 調査結果報告

「BYODの課題と他大学での取り組み例 → 本学での今後の展開」(PDF:264KB)

髙田敏行(全学教育機構 総合教育企画部門 准教授)

14:10-14:25 休憩及び質問感想票記入

- ・参加のみなさまからのコメント、感想、ご質問をオンラインで受け付けます。

[こちら](#)(Office365 Forms)にアクセス願います。(ご欠席の方も投稿いただけます)

- ・事例報告のうち、鎌田先生分は直後に挙手で受け付けます(学内別研修ご出席のため)

14:25-15:25 質疑応答・意見交換・総合討論

- ・みなさまからお寄せいただいたご意見をもとに全体で議論を進めます。

15:25-15:30 まとめ・閉会挨拶

お問い合わせ ● 学務部学務課 三谷

TEL ● 029-228-8415

E-mail ● tatsuya.mitani.iu@vc.ibaraki.ac.jp

ファイルが展開できないなどの不具合が発生した際には、お問い合わせ先にご連絡ください。

(参考資料)

[BYODタスクチェックリスト\(H31.1.10版\)](#)(PDF:125KB)

- ・課題と今後のスケジュールについてまとめたものです。

(BYOD活用検討TF+IT基盤センター、学務課、学生支援課、学術情報課など関係者で校正された拡大会議等で検討)。

[BYOD学内調査報告書\(H30.5.10版\)](#)(PDF:437KB)

- ・平成30年3月に実施した学内調査の結果報告書です。